

第43回

全日本バトントワリング選手権東海支部大会

基本実施要項



日本バトン協会東海支部

目 次

第43回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会

選手権の部

大会概要 大会日程 支部別出場枠2

実施規定6

審査規定 種目別10

東海支部代表選考の部（第34回世界バトントワーリング選手権大会）

大会概要20

支部別出場枠数 22

実施規定 23

審査規定 27

規定演技部

大会概要 大会日程30

実施規定 規定演技共通31

出場者の注意事項等35

緊急対策36

第 4 3 回 全日本バトントワーリング選手権東海支部大会 (選手権の部)

名 称 第 4 3 回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会

開催日程 2018年2月11日(日) 10:00~20:00[予定]
2018年2月12日(祝・月) 10:00~19:00[予定]

開催会場 日本ガイシホール
〒457-0833
愛知県名古屋市南区東又兵衛町 5-1-16
TEL (052) 614-3111

主 催 日本バトン協会東海支部
〒460-0022
愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201
TEL (052) 265-9251

主 管 愛知県バトン協会 岐阜県バトン協会 静岡県バトン協会 三重県バトン協会

競技種目 ソロトワール
トゥーバトン
スリーバトン
ペア
ソロストラット
ダンストワール
コンパルソリー ※東海支部大会のみ実施(申込書はフリースタイルを使用)
ショートプログラム ※東海支部大会のみ実施(申込書はフリースタイルを使用)

主 旨 本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに東海各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

支部別出場枠数

(1) 以下の通りすべて支部推薦とする。

(2) 支部推薦種目の支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

- ① 支部別出場割当枠は過去の支部大会出場人数の割合を元に算出する。
- ② 6種目の前年度各部門優勝者登録支部に優勝枠（枠数の下線箇所）として1枠追加する。
- ③ 部門ごとの自由枠は記載の通りとし、開催地における支部は2枠追加する。
- ④ 支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、1部門2枠までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソ ロ ト ワ ー ル	女 子	U-9(7~9才)	2	2	3	2	2	4	4	1	<u>6</u>	1	27
		U-12(10~12才)	2	2	5	4	5	<u>6</u>	4	1	5	1	35
		U-15(13~15才)	1	3	5	4	5	5	5	<u>2</u>	5	0	35
		U-18(16~18才)	1	1	4	3	5	5	2	1	<u>4</u>	1	27
		U-22(19~22才)	0	1	5	0	4	<u>6</u>	1	0	2	0	19
		0-23(23才以上)	0	0	<u>5</u>	0	0	2	1	0	1	0	9
	男 子	JrU-12(7~12才)	1	1	<u>3</u>	1	1	3	4	1	4	0	19
		JrU-17(13~17才)	1	0	4	<u>2</u>	2	3	2	0	5	0	19
		Sr(18~22才)	0	0	2	0	0	<u>4</u>	0	0	2	0	8
		Ad(23才以上)	0	0	0	0	0	0	<u>1</u>	0	0	0	1
	自由枠		4	4	4	4	6	4	4	4	4	4	4
計		12	14	40	20	30	43	27	10	38	7	241	

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ト ウ ー バ ト ン	女 子	U-12	1	1	3	2	2	2	3	1	6	0	21
		U-15	1	1	3	2	3	3	2	<u>1</u>	5	0	21
		U-18	1	1	3	1	4	<u>5</u>	1	0	5	0	21
		0-19	0	1	2	0	2	2	1	0	<u>3</u>	0	11
	男 子	JrU-12	1	1	<u>2</u>	0	1	1	2	1	1	0	10
		JrU-17	2	0	1	<u>2</u>	1	2	1	0	2	0	11
		Sr	0	0	0	0	0	<u>1</u>	0	0	0	0	1
		Ad	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自由枠		3	3	3	3	5	3	3	3	3	3	32
	計		9	8	17	10	18	19	13	6	25	3	128
ス リ ー バ ト ン	女 子	U-12	0	0	<u>4</u>	0	1	2	1	0	2	0	10
		U-15	1	0	2	0	3	1	1	0	<u>3</u>	0	11
		U-18	1	0	<u>3</u>	0	2	1	1	0	2	0	10
		0-19	1	0	1	0	<u>4</u>	3	0	0	2	0	11
	男 子	JrU-12	0	0	<u>1</u>	0	0	0	0	0	0	0	1
		JrU-17	1	1	<u>3</u>	1	0	1	1	0	1	0	9
		Sr	0	0	0	0	0	<u>1</u>	0	0	0	0	1
		Ad	0	0	0	0	<u>1</u>	0	0	0	0	0	1
	自由枠		3	3	3	3	5	3	3	3	3	3	32
	計		7	4	17	4	16	12	7	3	13	3	86
ペ ア	U-12	2	2	<u>6</u>	2	3	2	3	1	5	1	27	
	U-15	1	4	4	<u>4</u>	4	2	2	1	5	0	27	
	U-18	1	1	<u>4</u>	1	2	2	2	0	4	0	17	
	0-19	0	0	<u>4</u>	1	1	3	1	0	1	0	11	
	自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22	
	計	6	9	20	10	14	11	10	4	17	3	104	

		北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計
ソロストラット	U-12	0	1	4	3	1	<u>4</u>	2	1	4	1	21
	U-15	1	4	5	3	4	5	2	1	<u>6</u>	0	31
	U-18	1	2	5	1	2	4	1	0	<u>5</u>	0	21
	0-19	0	1	<u>4</u>	0	2	3	0	0	1	0	11
	自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22
	計	4	10	20	9	13	18	7	4	18	3	106
ダンストワール	U-12	3	4	5	<u>4</u>	3	3	3	2	5	1	33
	U-15	2	4	5	<u>4</u>	5	4	3	1	5	0	33
	U-18	2	3	5	2	4	5	2	1	<u>6</u>	1	31
	0-19	0	1	5	0	3	<u>5</u>	1	0	2	0	17
	自由枠	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	22
	計	9	14	22	12	19	19	11	6	20	4	136

※コンパルソリー・ショートプログラムの全日本選手権大会への選出はありません。

実施規定

1. 出場資格

(1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。

(2) 支部推薦種目

[ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール]

- ① ペアのメンバーは、同一団体の構成員に限る。
- ② 同一選手の出場は6種目の中から2種目までとする。

2. 参加申し込み

(1) 参加者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。

(2) すべての参加申し込み申請の×切は、12月1日(金) 17時までとする。

(3) 下記の種目別の参加費を、×切日までに指定口座へ納入すること。

- ①参加申込書が事務局へ送信され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
- ②一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
- ③参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

ソロトワール	5,000 円
トゥーバトン	5,000 円
スリーバトン	5,000 円
ペア	8,000 円(1組)
ソロストラット	5,000 円
ダンストワール	5,000 円
コンパルソリー	3,000 円
ショートプログラム	3,000 円

参加費申込	
郵便振込み	口座番号 12140-88913731
	バトントワリング東海大会 代表者 服部 美佐
他金融機関からの 振り込み用口座	口座名 ゆうちょ銀行 218 普通預金 8891373

<申込書類送信先>

大会事務局(問い合わせ)

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201

tokai_2005_sb@yahoo.co.jp TEL/FAX (052)265-9251 携帯 080-1614-2005

3. 部門に関する規定

※未就学は含まない。

【ソロトワール】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-9	7歳	(2011年4月1日)	～	9歳	(2008年4月2日)
② 女子U-12	10歳	(2008年4月1日)	～	12歳	(2005年4月2日)
③ 女子U-15	13歳	(2005年4月1日)	～	15歳	(2002年4月2日)
④ 女子U-18	16歳	(2002年4月1日)	～	18歳	(1999年4月2日)
⑤ 女子U-22	19歳	(1999年4月1日)	～	22歳	(1995年4月2日)
⑥ 女子O-23	23歳	(1995年4月1日)	以上		
⑦ 男子JrU-12	7歳	(2011年4月1日)	～	12歳	(2005年4年2日)
⑧ 男子JrU-17	13歳	(2005年4月1日)	～	17歳	(2000年4月2日)
⑨ 男子Sr	18歳	(2000年4月1日)	～	22歳	(1995年4月2日)
⑩ 男子Ad	23歳	(1995年4月1日)	以上		

【トゥーバトン／スリーバトン】

(1) 部門は次の通りとする。

① 女子U-12	7歳	(2011年4月1日)	～	12歳	(2005年4月2日)
② 女子U-15	13歳	(2005年4月1日)	～	15歳	(2002年4月2日)
③ 女子U-18	16歳	(2002年4月1日)	～	18歳	(1999年4月2日)
④ 女子O-19	19歳	(1999年4月1日)	以上		
⑤ 男子JrU-12	7歳	(2011年4月1日)	～	12歳	(2005年4年2日)
⑥ 男子JrU-17	13歳	(2005年4月1日)	～	17歳	(2000年4月2日)
⑦ 男子Sr	18歳	(2000年4月1日)	～	22歳	(1995年4月2日)
⑧ 男子Ad	23歳	(1995年4月1日)	以上		

【ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

① U-12	7歳	(2011年4月1日)	～	12歳	(2005年4月2日)
② U-15	13歳	(2005年4月1日)	～	15歳	(2002年4月2日)
③ U-18	16歳	(2002年4月1日)	～	18歳	(1999年4月2日)
④ O-19	19歳	(1999年4月1日)	以上		

※ 性別区分は行わない。2人の内、年齢が上の人の部門とする。

※ 補欠は認めない。

【ソロストラット／ダンストワール】

(1) 部門は次の通りとする。

① U-12	7歳	(2011年4月1日)	～	12歳	(2005年4月2日)
② U-15	13歳	(2005年4月1日)	～	15歳	(2002年4月2日)
③ U-18	16歳	(2002年4月1日)	～	18歳	(1999年4月2日)
④ O-19	19歳	(1999年4月1日)	以上		

※ 性別区分は行わない。

4. 演技順に関する規定

- (1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 準決勝の演技順は準々決勝の、決勝の演技順は準決勝の演技順とし、種目重複選手を考慮し大会実行委員会にて決定する。

5. 審査、順位に関する規定

- (1) 審査委員長・審査副委員長
 - ① 審査委員長1名、審査副委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。
- (2) 審査員・ペナルティ審査員
 - ① 審査員は、準々決勝3名/準決勝5名/決勝5名とする。
 - ② ペナルティ審査員は、1名とする。
- (3) 準々決勝・準決勝・決勝は次の通りとする。
 - ① 準々決勝上位25位までが準決勝に進出する。
 - ② 準々決勝出場者が25名以下の場合は、準々決勝を行わず決勝とする。
 - ③ 準決勝上位10名までが決勝に進出する。
 - ④ 準決勝出場者が15名以下の場合は、準決勝を行わず決勝とする場合もある。
- (4) 準決勝/決勝とも順位の決定は次の通りとする。
 - ① 準々決勝を複数コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティ審査員の減点を差し引いた点数合計により決定する。
 - ② 準々決勝を単一コートで行う場合は、各審査員の評点からペナルティ審査員の減点を差し引き席次に換算する。席次合計により決定する。
 - ③ 準決勝及び決勝順位は各審査員の評点からペナルティ審査員の減点を差し引き席次に換算する。席次点を上下カットしたものの合計により決定する。
 - ④ 準決勝、決勝進出下限位が同点の場合は進出できる。
 - ⑤ 決勝順位が同席次の場合は審査員全員の席次点合計とする。更に同席次の場合はペナルティ減点後の点数合計による。

同席次、同点の場合は同位とし、次の位を空位とする。1位及び全日本選出に関わる同席次、同点の場合は、再演技を行い、決勝の審査員の投票により決定する。

(選手が3人以上の場合は決勝の審査員5名とペナルティ審査員の採点により決定する)

6. 表彰に関する規定

- (1) 全日本選手権大会への推薦枠により、賞状とメダルを授与する。(決勝進出者には賞状を授与する)

7. コスチュームに関する規定

【ソロトワール/トゥーバトン/スリーバトン/ペア/ソロストラット共通】

- (1) 自由(女子はパンツスタイル不可)

【ダンストワール】

- (1) 自由(小道具・帽子着脱は不可)

8. バトン、その他に関する規定

(1) すべての種目共通

- ① バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- ② バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- ③ 演技スペースヘタオール・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ④ 演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑤ 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリー類は全て禁止する。
- ⑥ 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑦ スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。

9. 競技におけるアクシデントに関する規定

- ・大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。
- ・再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。
- ・選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところの採点とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

10. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。
- (3) 2010年度改訂6種目課題曲CD（ソロトワール／トゥーバトン／スリーバトン／ペア／ソロストラット／ダンストワール）2,160円を送料別にて販売します。
2014年度改訂WBTF課題曲CD（ショートプログラム／アーティスティックトワール／アーティスティックペア）1,080円を送料別にて販売します。
※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページをご確認下さい。
[<http://www.baton-jp.org/>]
- (4) 入場券について
 - ・観覧には入場券が必要です。
 - 1日券 1,500円（前売り・当日共）

【ソロトワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース …… 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） …… Solo Special （約1分45秒）
- ⑤ 演技内容 …… 1本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ア) イントロダクション（オープニング サリュートは自由）
 - イ) 3モード エアリアル [バーティカル・フラット（水平）]
 - ロール [バーティカル・フラット（水平）]
 - コンタクト マテリアル [バーティカル・フラット（水平）]
 - ウ) エンディング（エンディング サリュートは自由）
- ※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ 3モードのバランス／両手使い
- イ) ディフィカルティー
 - ・ バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・ バトンの回転だけでなく、全体（3モード）を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【トウーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン 2本
- ③ 演技スペース …… 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） …… Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 …… 2本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) コンタクト マテリアル（2本のバトンを身体の近くで行うトワール）
- イ) ロール（両手を使ったロール。又は空中で1本のバトンが高く、もう1本がロールの組み合わせ）
- ウ) ハイ ロー（空中で1本のバトンが高く、もう1本が低いエアリアル。又は1本が高くもう1本はコンタクト マテリアル等の組み合わせ）
- エ) ダブル トス トリック（2本同時に空中ヘトス）
- オ) ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で2本のバトンを交互にトス）
- カ) シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1本のバトンをトスしている間にもう1本をパスして最初のバトンをキャッチ）
- キ) コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・コンタクト マテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
- イ) ディフィカルティー
 - ・バトンとボディの困難度／リリース、レセプション、リードイン、フォロースルー、コネクション

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／トウーバトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対しての一体感
- ウ) スピード
 - ・バトンの回転だけでなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない）

【スリーバトン】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 1名
- ② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン3本
- ③ 演技スペース … 横7m×縦7mの広さを目安とする
- ④ 課題曲(時間) … Two Baton・Three Baton & Pair Special (約1分30秒)
- ⑤ 演技内容 … 3本のバトンを使って技術を競う

ルーティーン構成

- ア) カスケード (左右交互に行われるリリースとキャッチ)
- イ) シャワー (両手による継続的なリリースとキャッチ)
- ウ) ジャグル (片手による継続的なリリースとキャッチ)
- エ) ダブルトス — シングルトス
(2本同時に空中へトスし、それとコーディネーションして残りもう1本を続いてトスする)
- オ) ハイ ロー (高いエアーの下でトゥーバトンの技を行うこと)
- カ) スタックス (高いエアーの下に低いエアーを投げあげ、その下でコンタクトマテリアルを行う)
- キ) トリプルトス (3本のバトンが同時に空中にある状態のこと)

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
 - ・ シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクト マテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
- イ) ディフィカルティー
 - ・ 密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エアー

② 実施

- ア) テクニック
 - ・ バトンの精密さ、安定度／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトンとボディのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジレポリューションの正確さ
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ エンターテインメント性／持続力&スタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
- ウ) デマンド
 - ・ 継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ペア】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 演技に使用 …… 2名
- ② するバトン 演技スペ ……レギュラーバトン2本（各1本）
- ③ ース ……横8m×縦8mの広さを目安とする
- ④ 課題曲（時間） ……Two Baton・Three Baton & Pair Special（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……二人で、バトンとボディワークの調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をするに価値がある。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) バラエティー
・ 3モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン
- イ) ディフィカルティー
・ バトンとボディワークの困難度／シンクロナイゼーションの困難度／
コーディネーションの困難度

② 実施

- ア) テクニック
・ バトンの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度・質／ボディワークの熟練度・質／ペアのコントロール／リズム・タイミングのコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
・ ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／
自信のある演技／リカバリー能力
- ウ) スピード
・ バトンの回転だけでなく一貫したスピード／二人の統一したスピード

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ソロストラット】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース ……横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……栄光へのマーチ（約1分30秒）
- ⑤ 演技内容 ……マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトンの技術を競う

ルーティーン構成

- ア) イン트로ダクション 8拍
- イ) ミリタリーストラット 32拍
- ウ) プレゼンテーション 32拍
- エ) フォワードモーション 96拍
- オ) エンディング 16拍

(2016年度改定)

構成内容

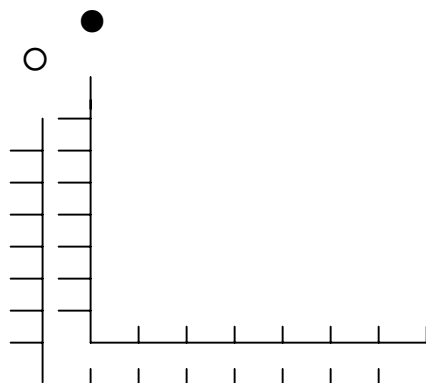
ア) イン트로ダクション

- ・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作（アテンション・サリュート等）

イ) ミリタリーストラット（ダブルL字ストラット）

- ・足の動き …… 審査員に向かってベーシックストラット（腿は、床と平行になる）で8拍前進、8歩目（右足）を踏み出すと同時に右足を軸にして左に90度方向変換、新方向へ左足より7拍前進、7歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで180度方向変換、右足より8拍前進、8歩目（左足）を踏み出すと同時に左足を軸にして右に90度方向変換、審査員を後ろにし、8拍前進、9歩目で右足を左足に揃える。

- FM 8 (LS ON8)
- FM 8 (TTR ON7)
- FM 8 (RS ON7)
- FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム（拍子をとる）〔指揮杖でバンドを指揮するような動作〕
- ・左手は、指を揃えて左腰におく
- ・足は、ベーシックストラット
- ・背中まっすぐ正面（進行方向）を向く 顔は引き締める

- ウ) プレゼンテーション
 - ・自由に表現できるセクション

- エ) フォワードモーション
 - ・ビートに合わせてパレードを先導するように前進しながらバトンと優雅なボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション

- オ) エンディング
 - ・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) イントロダクション・ミリタリー ストラット
 - ・ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット
- イ) プレゼンテーション・エンディング
 - ・バトンとボディのバラエティー／ディフィカルティー／オリジナリティー
- ウ) フォワードモーション
 - ・バトンとボディの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／バトンとボディの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトンとボディの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムのとり方／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力
- ウ) アウトオブステップ
 - ・フォワードモーションにおける足踏みの誤りを指し、奇数は左足、偶数は右足でステップする。両足は1拍までとする。
例：ダブルイリュージョンはステップを踏み変える事

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【ダンストワール】

(1) 演技に関する規定

- ① 演技人数 演技に使用 …… 1名
- ② するバトン 演技スペ ……レギュラーバトン1本
- ③ ース ……横15m×縦10mの広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある
- ④ 課題曲（時間） ……輝きの時 （約1分34秒）
- ⑤ 演技内容 ……バトンとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う

ルーティーン構成

ア) 音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトンをブレンドし構成する。

(2) 審査内容

① 内容

- ア) コレオグラフィー
 - ・バトンとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成・振り付け／チェンジオブベース／フロアの使い方・ステー징
- イ) バトンとダンスのブレンド
 - ・バトンのバラエティー・ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー・ディフィカルティー／バトンとダンスのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー

② 実施

- ア) テクニック
 - ・バトン・ボディの正確さ・明確さ／動きの熟練度・質／リズム・タイミング／音楽との関わり・調和／ダンスワークの質／ボディコントロール
- イ) パフォーマンス&エクスペッション
 - ・ショーマンシップ・エンターテインメント性／自信

③ ペナルティ ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となります。

- ア) ドロップ 1本につき0.1点減点
- イ) 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点 全転倒1回につき0.2点減点
- ウ) アンダータイム 出遅れ、途中の振り忘れ、曲余り合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まれない)

【コンパルソリー】

(1) 部門に関する規定

①年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

ア) 女子ジュニア部門 —— 12歳～17歳 イ) 男子ジュニア部門 —— 12歳～17歳

(2) 演技に関する規定

- ① 演技人数 …… 1名
- ② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本
- ③ 演技スペース …… 横9m×縦7.5mの広さを目安とする
- ④ 演技曲 …… 無し (MCにより各「**レディ ビギン**」とスタート合図がある)
尚、ショートプログラムと同時に行うためショートプログラムの課題曲が流れ、終了した時点から静かなピアノ曲が流れる
- ⑤ 入退場について …… 原則として、演技者は名前をアナウンスされたら指定された順路で速やかに演技スペースに入る
- ⑥ 規定演技内容

コンパルソリー (15種類) は次の通りとする (2016年WBTFルール変更)

- No. 1 右手バーティカルフィンガー
- No. 2 左手バーティカルフィンガー (8フィンガーの際、顔は腕と同じように流れる)
- No. 3 右手水平フィンガー (右肩と身体のセンターの間で2フィンガーを行う)
(8フィンガーに入る際、左向き4番ルルベから始まり、身体の右側、45度の角度で行う)
- No. 4 左手水平フィンガー (左肩と身体のセンターの間で2フィンガーを行う)
- No. 5 右手フィッシュテール (4番レンジは両腰が同等に右を向く)
- No. 6 左手フィッシュテール (4番レンジは両腰が同等に右を向く)
- No. 7 4エルボーレイアウトロール
- No. 8 2 1/2フラットバックネックロール
- No. 9 2スピン左手キャッチ
- No. 10 左手バックハンドトス1スピン～右手バックハンドキャッチ
- No. 11 1スピンドライブキャッチ (フォロースルーのパスはウエストの高さで行う)
- No. 12 1 1/2右スピン～右手バックキャッチ
- No. 13 左手水平2スピン～右手クラブ
- No. 14 右手水平1スピン～右手バックハンドキャッチ
(フォロースルーのフラットリストは、右横から後ろまでの間に行う)
- No. 15 左手水平右1スピン～バックキャッチ
(フォロースルーで左足をステップする際、2番ポジションのルルベアップを行う)

上記15種類のうち8種類のA又はBセット、どちらか一方の演技を行う

※A・Bセットの発表につきましては日本バトン協会ホームページをご確認下さい。

但し、1月31日までに日本バトン協会のホームページに掲載されない場合は東海支部のホームページに東海支部で実施するセットを掲載いたします。

(3) 審査内容

- ① 技術
 - ア) 正確さ
 - イ) 明確さ
- ② ボディワーク
 - ア) 正確さ
 - イ) 明確さ

【ショートプログラム】

(1) 部門に関する規定

①年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

ア) 女子シニア部門 —— 18歳以上

イ) 男子シニア部門 —— 18歳以上

(2) 演技に関する規定

① 演技人数 …… 1名

② 演技に使用するバトン …… レギュラーバトン1本

③ 演技スペース …… 横9m×縦7.5mの広さを目安とする

④ 課題曲 (時間) …… 女子 Into the Splendid World

(華麗なる世界へ) 約1分21秒

男子 Challenging Into the Future

(未来への挑戦) 約1分19秒

⑤ 入退場について …… 原則として、演技者は、名前をアナウンスされてから指定された順路で演技スペースに入り、退場すること

※ショートプログラム課題曲が終了した時点から、静かなピアノ曲が流れる

⑥ 規定演技 (2016年WBTFルール変更)

ア) 必須エレメント

1. トラベリングコンプレックス — グランジュテ

(フリーアーム変更 詳しくはWBTFのHP映像参照)

2. 1スピンドラインドキャッチ

3. 4エルボーレイアウトロール

4. 2 1/2フラットバックネックロール

5. 左手水平右1スピン～バックキャッチ

(フォロースルーで左足をステップする際、
2番ポジションのルルベアアップを行う)

6. コンタクトマテリアル (24拍) (サムフリップ 2か所は 1～1半回転、
ショルダーラップの顔の向き正面に変更
詳しくはWBTFのHP映像参照)

7. ステーションナリーコンプレックス — リバースイリュージョン

8. 2スピン左手キャッチ

イ) アクセサリーマテリアル

(各エレメントの合間に行われるつなぎの動作であり、それらは以下の限定がある)

1. コンタクトマテリアルモードのトワール

(フリップ、スウィング、ラップ、フルハンド、フィンガー、デッドスティック)

2. ハンドロール及びシングルエレメントロールは行って良い

3. ボディ / ダンスの動作

4. 規定されたアクロバティック動作

(カートウィール、イリュージョン、ウォークオーバー片手/両手・前方/後方、
フロアロール等) 空中アクロバティックや倒立は許可されていない

(3) 審査内容

① 必須エレメント 各 10 点

ア) バトンとボディの正確さ

イ) バトンとボディの明確さ

② コンポジション 10 点

ア) 音楽との調和

イ) 効果的なデザイン

③ パフォーマンス 10 点

ア) 表現力

④ 減点

アクセサリーマテリアルで違反がある場合 2.0 減点

第 3 4 回 世界バトントワーリング選手権大会 大会概要

- 名 称** 第 3 4 回世界バトントワーリング選手権大会
- 主 旨** 1978年、カナリー諸島において、世界スポーツバトンの向上と発展、選手、国家間の友好を目的とし、世界バトントワーリング連合 [WORLD BATON TWIRLING FEDERATION] (WBTF) が設立され、1980年にアメリカ・シアトルで「第1回世界バトントワーリング選手権大会」を開催。芸術スポーツとしてのバトントワーリング競技の確立と普及、さらにはオリンピックへの正式種目を最大の目標として発展を目指しています。
- 開催日程** 2018年 8月 2日 (木) ~ 8月5日 (日) (予定)
- 開催場所** 米国 フロリダ州 キシミー
- 主 催** 世界バトントワーリング連合 (WBTF)
- 参加国** (予定) WBTF加盟27カ国 (2017年6月現在)
アイルランド、アメリカ、イタリア、イングランド、インド、ウクライナ、オーストラリア、オランダ、カザフスタン、カナダ、キルギスタン、クロアチア、スイス、スウェーデン、スコットランド、スペイン、スロベニア、チェコ、ドイツ、日本、ノルウェー、ハンガリー、フィリピン、プエルトリコ、フランス、ベルギー、ロシア

競技概要

種 目	年 齢 区 分	演技時間	国代表	演技フロア
フリースタイル個人 (コンパルソリー・ ショートプログラム)	男、女 ジュニア12才~17才 シニア18才以上	ジュニア 1分30秒~2分 シニア 2分~2分30秒 過不足 10 秒可	各3名	縦15m×横18m
フリースタイル ペア	ジュニア12才~17才 シニア18才以上 同性の場合補欠1名 男女混合の場合1名ずつ	ジュニア 1分30秒~2分 シニア 2分~2分30秒 過不足 10 秒可	各1組	縦15m×横25m
フリースタイル チーム	12才以上 [6名~8名] 補欠2名	3分~3分30秒 過不足 10 秒可	1チーム	縦15m×横25m

1) 年齢区分

年齢区分は以下の通り

フリースタイル個人、フリースタイルペア

ジュニア 2001年 1月 1日生まれ (17才) ~ 2006年 12月 31日生まれ (12才)

シニア 2000年 12月 31日生まれ (18才) 以上

フリースタイルチーム 2006年 12月 31日生まれ (12才) 以上

第 3 4 回

世界バトントワーリング選手権大会

東海支部代表選考

選考日程 2018年2月11日(日) 10:00~20:00[予定]
2018年2月12日(祝・月) 10:00~19:00[予定]
「第43回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会」同日日程

選考会場 日本ガイシホール

主 催 日本バトン協会東海支部
〒460-0022
愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201
TEL (052) 265-9251

主 管 愛知県バトン協会 岐阜県バトン協会 静岡県バトン協会 三重県バトン協会

競技種目 フリースタイル個人
フリースタイルペア
フリースタイルチーム

※東海支部代表選考においてはコンパルソリー・ショートプログラムは必須ではありません。

エントリーと支部別出場枠数

(1) すべて支部推薦とする。

(2) 支部別出場割当枠数は下記の通りとする。

支部大会の実情に合わせ、割当枠に自由枠を加算することができる。ただし、**1部門2枠**までの使用とする。

			北海道	東北	関東	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄	計	
フリースタイル個人	女子	Jr	0	1	14	2	4	14	0	1	13	0	49	
		Sr	0	1	8	0	5	6	1	0	6	0	27	
	男子	Jr	0	0	1	1	0	3	0	0	2	0	7	
		Sr	0	0	1	1	0	4	0	0	2	0	8	
	自由枠		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
	計		2	4	26	6	11	29	3	3	25	2	111	
フリースタイルペア	Jr	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	5		
	Sr	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	5		
	自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10		
	計	1	2	1	1	3	5	2	1	3	1	20		
フリースタイルチーム		0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5		
	自由枠	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10		
	計	1	1	1	1	3	4	1	1	1	1	15		

実施規定

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) エントリーと支部推薦種目
フリースタイルペア及びフリースタイルチームのメンバーは、全員が同一団体の構成員に限る。補欠も登録選手以外は認めない。
- (3) 出場者は、パスポートの国籍が日本であること。

2. 参加申し込み

- (1) すべての参加申し込み申請の〆切は、2017年12月1日（金）17時までとする。
- (2) 参加者は参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。
- (3) エントリー方法
複数のエントリー可
- (4) 下記の種目別の参加費を〆切日までに指定口座へ納入すること。
 - ① 参加申込書が事務局へ提出され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 - ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 - ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

フリースタイル個人	7,000円	
フリースタイルペア	10,000円	1組
フリースタイルチーム	20,000円	1組

- (5) 著作権に関する書類（添付書類を含む）と録音利用明細書・演奏利用明細書・音楽著作権使用許諾確認書を支部に提出すること。（支部大会の書類が、そのまま全日本選手権大会に使用されます。）

●フリースタイル個人

(1) 部門に関する規定

① 年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す。

- ア) 女子ジュニア部門 — 12歳～17歳 イ) 女子シニア部門 — 18歳以上
ウ) 男子ジュニア部門 — 12歳～17歳 エ) 男子シニア部門 — 18歳以上

(2) 演技に関する規定

- ① 演技人数 … 1名
② 演技に使用するバトン … レギュラーバトン1本
③ 演技スペース … 横18m×縦15mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある
④ 演技曲（時間） … 自由曲
演技曲のスタート（演技開始）とストップ（演技終了）の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ（計時）は、音楽の第一音より、最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音（1秒以内）を入れても良いが、計時には含めない。
ジュニア部門は、1分30秒以上2分以内（過不足10秒可）とする
シニア部門は、2分以上2分30秒以内（過不足10秒可）とする

(3) 審査内容

内容としてのガイドライン（WBTFルールからの提

案） エアリアル 総数ジュニア5、シニア6が望ましい

- ・ 1つのコンティニアススピン
- ・ 1つのステーションナリーコンプレックス
- ・ 1つのトラベリングコンプレックス
- ・ ジュニアはそれ以外に自由に2つ、シニアはそれ以外に自由に2～3つ
- ・ 1つは水平のもの
- ・ 1つは左右グラブ、左右キャッチ以外のノンスタンダードキャッチのもの

ロール … 水平とバーティカルの両方

コンタクトマテリアル … 水平とバーティカル

① 技術

- ア) テクニック
イ) スピード
ウ) 3モード（エアリアル・ロール・コンタクトマテリアル）のバラエティー・ディフィカルティ
エ) ボディワークのバラエティー・ディフィカルティ
エ) ディフィカルティ
オ) クリアネス&シュアネス

② 芸術

- ア) ジェネラルコンテンツ
イ) ビジュアルミュージカルティ
ウ) 空間の利用度
エ) チェンジオブペース
オ) スキルの要求度
カ) 演技の優秀さ
キ) 正確さ
ク) エンターテインメントの価値／プロフェッショナルリズム

●フリースタイルペア

(1) 部門に関する規定

①年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す

ア) ジュニア部門 —— 12歳～17歳 イ) シニア部門 —— 18歳以上

※性別区分無し。2人の内、年齢の上の人の部門とする

(1名の補欠を用意することが出来る。混合ペアのみ、男子1名・女子1名の補欠を用意することが出来る**但し、交代は1名までとする**)

(2) 演技に関する規定

① 演技人数 …… 2名

② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン2本(各1本)

③ 演技スペース ……横25m×縦15mの広さを目安とする。

演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用の仕方等により得点を加味することがある

④ 演技曲(時間) ……自由曲

演技曲のスタート(演技開始)とストップ(演技終了)

の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までとする。

音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れても良いが、計時には含めない。

ジュニア部門は、1分30秒以上2分以内(過不足10秒可)とする。

シニア部門は、2分以上2分30秒以内(過不足10秒可)とする

(3) 審査内容

① 内容

ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー

イ) エクスチェンジ

ウ) 移動しながらのバトントワーリング

エ) 両手使い

② 実施

ア) 滑らかさと流れ

イ) 音楽との関わりでの速さ

ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ

エ) バトンとボディの正確な技術

オ) ペアワーク

③ 全体的効果

ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー

イ) 時間と空間の利用

ウ) ステージング

エ) 一貫性と論理的な展開

オ) エンターテインメントの価値

カ) 表情と身仕舞い

キ) プロフェッショナルリズム(リカバリー能力、ペアの責任)

●フリースタイルチーム

(1) 部門に関する規定

- ① 年齢及び性別は次の通りとし、2018年12月31日までに繰り上がる年齢を示す
12歳以上、性別区分無し
6名以上8名以内とし、2名の補欠を用意することが出来る

(2) 演技に関する規定

- ① 演技人数 ……6名から8名
- ② 演技に使用するバトン ……レギュラーバトン6本から8本(各1本)
- ③ 演技スペース ……横25m×縦15mの広さを目安とする。
演技途中、境界線を越してしまった場合、演技パターン、空間の利用仕方等により得点を加味することがある
- ④ 演技曲(時間) ……自由曲
演技曲のスタート(演技開始)とストップ(演技終了)の合図は、演技者が演技スペース内で行うか、又は付添者が音響席にて行うこと。曲の長さ(計時)は、音楽の第一音より、最終音までとする。音楽の第一音以前に演技開始のための合図音(1秒以内)を入れても良いが、計時には含めない
3分以上3分30秒以内(過不足10秒可)とする

(3) 審査内容

- ① 内容
 - ア) バトンとボディのバラエティー・ディフィカルティー
 - イ) エクスチェンジ
 - ウ) 移動しながらのバントワーリング
 - エ) 両手使い
 - ② 実施
 - ア) 滑らかさと流れ
 - イ) 音楽との関わりでの速さ
 - ウ) ボディポジションの均一性/トスの高さ、回転、リリース&キャッチ
 - エ) バトンとボディの正確な技術
 - オ) チームワーク
 - ③ 全体的効果
 - ア) 音楽の解釈とビジュアルミュージカルティー
 - イ) 時間と空間の利用
 - ウ) ステージング
 - エ) 一貫性と論理的な展開
 - オ) エンターテインメントの価値
 - カ) 表情と身仕舞い
 - キ) プロフェッショナルリズム(リカバリー能力、チームの責任)
- ※ 演技中に演技者は、声を掛け合わないこと

審査規定

【フリースタイル個人・ペア・チーム】

- 1) 審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。
 - ①審査員は、準決勝2～7名・決勝2～7名とする。
 - ②必要であれば、審判員の計時・罰則1名以上、フロアモニター1名以上用意できる。
- 2) 出場者数により、準決勝を行う場合がある
- 3) 準決勝・決勝の順位の設定は次の通りとする。

【フリースタイル個人・ペア・チーム】

- ① 審査員の点数を席次に換算する。席次点を上下カットしたものの合計により決定する。
 - ② 同席次の場合は審査員全員の席次点合計とする。更に同席次の場合は点数合計による。
- 1位及び全日本選出に関わる同席次、同点の場合は、再演技を行い、5名の審査員の投票により決定する。

(選手が3人以上の場合は5名の審査員の採点により決定する)

【コンパルソリー】

- 1) 審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。
 - ①審査員は2～3名とする。
 - ②必要であれば、審判員のフロアモニター1名以上用意できる。
- 2) 成績判定は次の通りとする。
 - ①2～3名の審査員が、規定演技8種各10点法(小数点第1位まで)により採点する。
 - ②2～3名の審査員の点数合計により決定する。同点の場合は同席次とする。

【ショートプログラム】

- 1) 審査員・審判員の人数ならびに役割は次の通りとする。
 - ①審査員は3～7名(必須エレメント1～3名、パフォーマンス・コンポジション1～2名、ペナルティ1～2名)とする。
 - ②必要であれば、審判員のフロアモニター1名以上用意できる。
- 2) 成績は次の通りとする。
 - ①審査員[必須エレメント]が8種各10点法(小数点第1位まで)、[パフォーマンス・コンポジション]が各10点法(小数点第1位まで)の合計100点法により採点する。尚、[ペナルティ]違反行為(禁止動作)があった場合は1箇所につき2点減点を行う。
 - ②[必須エレメント]の点に、[パフォーマンス・コンポジション]の点を加算し、さらに[ペナルティ]の点を差し引いた点数をショートプログラムの得点となり高い順に決定する。
同点の場合は同位とする。。

1. コスチュームに関する規定

●フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通

- ① W B T F 規定に準ずる。
- ② スポーツであることを前提に、コスチュームに関する規定は設けない。
手のひらと顔を覆うようなものは不可。

●コンパルソリー・ショートプログラム共通

- ① 髪飾りは不可。
- ② コスチュームについては、女子はレオタード。男子は上着とパンツの長いもの、ジャンプスーツ可。ベルト可。男女共、飾りは不可。
- ③ 肌色のタイツを履いても良い。足首までのソックスは可。
- ④ 靴の色は自由とする。

※演技前にコスチュームのチェックを行う。審判員（フロアモニター）はコスチュームの不備等により、訂正を指示することがある。

※演技者は、審判員（フロアモニター）より上記指示を受けた場合は、速やかに訂正しなければならない。

2. バトン、その他に関する規定

すべての種目共通

バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。

- ③バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。グリップテープはシャフトの1/2をカバーすることが出来、センターから同等に巻く事。グリップテープ以外のアタッチメントを付けてはならない。
- ④演技スペースへタオル・パウダー等バトン以外を持ち込んで서는ならない。
- ⑤演技中の怪我のための包帯は可。
- ⑥必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- ⑦付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- ⑧スポーツ競技であることを前提に、適度なメイクアップは良い、装飾（顔に絵を描いたりすること）は禁止。

3. 競技におけるアクシデントに関する規定

- ・大会期間中のアクシデント（体調不良、怪我・演技中にバトンが折れる）について再演技の判断は、団体責任者・本人・審査委員長・実行委員長が協議し決定をする。
- ・再演技を行った場合は、再演技の採点とする。ただし、再演技を行わなかった場合は、演技をした所までの採点とする。
- ・選手が自分の演技時間に出遅れ、途中から演技を行った場合は演技を行ったところの採点とする。演技コートにいない場合は棄権とみなす。

4. その他

- (1) 大会の主旨に反する行為を行った場合、警告又は次回大会出場停止とする。
- (2) 本実施要項の主旨を変更することなく、大会実行委員会において加除訂正を行うことができる。

5. 著作権について

フリースタイル個人・フリースタイルペア・フリースタイルチーム共通

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

音楽著作権使用許諾のある曲以外（自作曲を除く）は使用できません

（1）音楽著作権使用許諾の申請

使用曲には音楽著作権使用許諾の申請が必要です。

- ① 使用曲の音源（全曲）については、各団体の責任において直接著作権を持っている出版元に音楽使用許諾を行ってください。
- ② 許諾が下りるまでに日数がかかる場合がありますので注意してください。
- ③ 自作曲の場合は、適用除外となります。

尚、著作権は作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、作者の著作権の有無は JASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部に直接お問い合わせ下さい。（使用料等の金額並びに支払方法を提示される事があります。）

大会で使用した曲について万が一版元とのトラブルが生じた場合は団体の責任の下に処理して頂きますのでご承知おき下さい。

（2）大会参加手続に関する提出書類

「音楽著作権使用許諾確認書」の提出

- ① 使用許諾の状況により、下記の添付書類の提出が必要です。

① 条件なしで許諾された

○ 版元より出される確認書の写しまたは各団体で作成した確認書を添付

② 条件ありで許諾された（無料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写しを添付

③ 条件ありで許諾された（有料）

○ 版元より出される許諾を証明する書類の写し及び領収書・振込控等（コピー可）を添付すること

④ 許諾の必要がない（自作曲等）

○ 書類添付の必要なし

尚、「各団体で作成した確認書」又は「著作権を所有している団体で公式の許諾用書式がない場合」には以下を明記の上作成し提出してください。

- ① 著作権所有の正式団体名
- ② 住所
- ③ 電話番号／メールアドレス
- ④ 担当者名
- ⑤ 許諾に関する対応をされた期日

6. その他

入場券について

・観覧には入場券が必要です。

1日券 1,500円（前売り・当日共）

第43回 全日本バトントワーリング選手権東海支部大会 大会概要（規定演技の部）

名 称	第43回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会
開催日程	2018年2月11日（日） 10:00～20:00（予定） 2018年2月12日（祝・月） 10:00～19:00（予定）
開催会場	日本ガイシホール 〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町5-1-16 Tel 052-614-3111
主 催	日本バトン協会東海支部 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201 TEL (052) 265-9251
主 管	愛知県バトン協会 岐阜県バトン協会 静岡県バトン協会 三重県バトン協会
競技種目	ソロトワール 〈全国共通規定演技〉入門・初級・中級・上級の部 ポンポン 〈全国共通規定演技〉初級・中級の部 トゥーバトン 〈東海規定演技〉初級・中級の部 ダンストワール 〈東海規定演技〉初級・中級の部 ソロストラット 〈東海規定演技〉初級・中級の部 ペア 〈東海規定演技〉初級・中級の部
主 旨	本大会は、一般社団法人日本バトン協会の目的である「バトントワーリングの普及・振興に関する事業を行い、もって我が国のスポーツ芸術・文化の発展に寄与することを目的とする」の精神のもとに東海各地から優れたバトントワラーが一堂に集い、技を競い、友好を深め、スポーツ精神の高揚を計ると共に我が国のスポーツ文化の発展に貢献するものです。

1. 出場資格

- (1) 出場者は、申し込み時に一般社団法人日本バトン協会に団体加盟している団体に構成員登録していること。会員組織規程に準ずる。
- (2) 種目
 ソロトワール 〈全国共通規定演技〉入門・初級・中級・上級の部
 ポンポン 〈全国共通規定演技〉初級・中級の部
 トゥーバトン/ダンストワールA・B/ソロストラット/ペア 〈東海規定演技〉初級・中級の部
- ① ペアのメンバーは、他団体の構成員と組むことができる。
 ② 同一選手の出場の制限はしなしがペアのみ2種目までとする。
 ③ ペアは2人のうち年齢が上の者の部門とする。

2. 参加申し込み

- (1) 参加者は、参加申込用紙に必要事項を記入し登録団体毎にデータで提出すること。
 ※申込用紙は、HPからダウンロードして下さい。
- (2) 参加申し込みの〆切は、2017年12月1日(金) 17時までとする。
- (3) 下記の種目別の参加費を、〆切日までに指定口座へ納入すること。
 ① 参加申込書が事務局へ送信され、参加費の指定口座への納入が確認されない限り大会参加を認めない。
 ② 一度納入された参加費及びエントリー費は、原則として払い戻しはしない。
 ③ 参加に要する各出場者個々の経費は、各参加者の負担とする。

入門の部	1種目	2,500円		
初級の部	1種目	2,500円	ペア	1組 5,000円
中級の部	1種目	2,500円	ペア	1組 5,000円
上級の部	1種目	2,500円		

参加費申込	
郵便振込み	口座番号 12140-88913731
他金融機関からの振り込み用口座	口座名 バトントワリング東海大会 代表者 服部 美佐
	ゆうちょ銀行 218 普通預金 8891373

〈申込書類送信先〉

大会事務局 (問い合わせ)
 〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山 2-11-6 カーサ金山 201
tokai_2005_sb@yahoo.co.jp TEL/FAX (052)265-9251 携帯 080-1614-2005

3. 部門に関する規定

【ソロトワール／ポンポン】

(1) 部門は次の通りとする。

- ① 男女未就学部門(未就学児)
- ② 男女小学校低学年部門
- ③ 男女小学校高学年部門
- ④ 男女中学校部門
- ⑤ 男女高等学校部門
- ⑥ 男女大学・一般部門

【トゥーバトン／ダンストワール／ソロストラット／ペア】

(1) 部門は次の通りとする。

- ① 男女プライマリー部門 (小学校3年生以下)
- ② 男女ジュニア部門 (小学校4年生以上)
- ③ 男女シニア部門 (高校生年代以上)

※ペアは2人のうち年齢が上の者の部門とする。

4. 演技内容に関する規定

【ソロトワール】

入門	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～5級の内容)
初級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～3級の内容)
中級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～2級の内容)
上級	全国共通規定演技	(技能ライセンス6～1級の内容)

【ポンポン】

初級	全国共通規定演技
中級	全国共通規定演技

【トゥーバトン／ダンストワールA・B／ソロストラット／ペア】

初級	東海規定演技	(技能ライセンス6～3級の内容)
中級	東海規定演技	(技能ライセンス6～2級の内容)

※ダンストワール A・・・スタンダード ダンストワール B・・・ヒップホップ

5. 課題曲に関する規定

【ソロトワール／ポンポン／トゥーバトン／ペア】

「レインボーマーチ」(1分) 【全国共通規定演技課題曲】

【ダンストワールA・B】

(58秒) 【ダンストワール東海大会課題曲】

【ソロストラット】

(1分) 【ソロストラット東海大会課題曲】

5. 演技順に関する規定

- (1) 演技順は、大会実行委員会の抽選により決定する。
- (2) 一部のエントリー数が多数の場合は、複数のコートで行う場合もある。
- (3) 複数の種目にエントリーをしている場合、演技順が7番以内に接近している時は、選手の申し出により、変更することができる。

6. 審査、評価に関する規定

(1) 審査委員長・審査副委員長

- ① 審査委員長1名、審査副委員長1名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員

- ① 東海審査員規定を満たすものに委嘱する
- ② 審査員は1名とする。

7. 表彰に関する規定

- (1) 金・銀・銅の各賞を授与する。

8. コスチュームに関する規定

【ソロトワール／ポンポン／トゥーバトン／ペア／ソロストラット共通】

- (1) 自由

9. その他

(1) DVD・CD購入について

- ①全国共通規定演技DVD・コンテ2009年度版 5,400円
- ②全国共通規定演技課題曲 [レインボーマーチ] CD2009年度版 1,080円

※上記の販売に関しては、一般社団法人日本バトン協会ホームページをご確認下さい。
[<http://www.baton-jp.org/>]

- ③東海規定演技DVD2014年度 改正 1,000円
- ④ダンスワールド、ソロストラット東海規定演技課題曲 2曲入りCD 1,000円

※上記の販売に関しては、日本バトン協会東海支部にお問い合わせ下さい。
〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-11-6 カーサ金山201
Tel/Fax 052-265-9251 携帯/ 080-1614-2005

(2) 入場券について

- ・観覧には入場券が必要です。
1日券 1,500円 (前売り・当日共)

出場者の注意事項等

■ 写真およびDVD撮影販売及び二次使用について

- ・演技中の写真撮影及びビデオ撮影は禁止です。
- ・写真およびDVDの撮影販売は、当協会指定業者が行う。
- ・写真およびDVDの著作権は、一般社団法人日本バトン協会東海支部に帰属する。
- ・二次使用については、該当団体の承諾のもと使用することとする。

■ 傷害保険について

- ・当協会にて、出演者・係員を対象に傷害保険に加入する。
- ・補償内容は「大会当日の会場到着時から会場出発時まで」とする。会場までの移動や宿泊中の傷害保険については、各団体が任意でご加入下さい。

■ 選手及び引率者入館

- ・選手は“第43回全日本バトントワーリング選手権東海支部大会の通行証リボン”と“一般社団法人日本バトン協会2017年度構成員ワッペン”を左肩に、引率者は“付き添いリボン”を着装し、参加者用の入口から入館する。
- ・引率者は1名とし、選手15名につき1名の割合で追加することができる。
- ・通行証リボンは、参加団体打ち合わせにて配布する。

■ 参加団体代表者会議

日 時 2018年 1月13日 13:00より

会 場 名古屋市中企業振興会館 第7会議室
464-0856 愛知県名古屋市千種区吹上二丁目6番3号
電話番号 (052) 735-2111

緊急対策

1. 目的 大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減するために以下の緊急時対策をとる。
2. 予防体制
 - (1) 各担当者は、それぞれのポジション内の整理については、特に注意し、不必要なものは置かないようにする。
 - (2) 入場開始1時間前に、役員及び係員全員で、消防器所在などの会場内事情を確認するとともに不審物、危険物の有無の点検を徹底的に行う。多少でも疑わしきものがあつた場合には、大会本部に各担当責任者を通じ連絡すること。
 - (3) 開会30分前に再度確認する。
3. 緊急事態発生の場合
 - (1) 火災発生の場合
 - ① 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、臨席の消防官・警察官に通報、また、各担当責任者に連絡すること。
 - ② 各担当責任者は、大会本部に通報し、大会本部は消防署に通報する。
 - ③ 臨席の消防官または警察官の指示は、各担当者が受け本部に連絡する。
 - ④ 初期消火については、会場内所定の消火器の操作要領を、各担当責任者が関係係員に確認しておくこと。
 - ⑤ 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により、来場者を混乱させることなく、あらかじめ定めた通路を使って誘導を行う。
 - (2) 地震の場合
 - ① 来場者に対して、まず冷静に対処することを放送・ハンドマイクなどで呼びかけ、本部の状況判断を待ち、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行う。誘導にあたっては、各担当責任者、臨席の消防官・警察官の指示を受ける。
 - (3) けが人・病人発生の場合
 - ① けが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報し、その指示を受け、救護係員の到着を待つこと。
 - ② 各担当者は本部に通報する。
 - ③ 大会本部は、救護班に待機場所を通報し、必要がある場合は、大会本部より救急車の出動を要請する。
 - ④ 救護所は、医務室に設置する。